

# おお大勝利

平成 20 年度山東サッカー部報第 13 号 (8 月 22 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 夏の遠征、合宿を終えて

8 月 1 日～4 日まで PUMA CUP 参加のため、日帰りですが仙台へ遠征をしてきました。A チームの予選リーグの相手は聖和、仙台二、加茂暁星 (新潟)、平工業 (福島)。聖和と平工業からは完全に実力負けし、2 敗。仙台二と加茂暁星からは何とか勝ちを拾い、2 勝 2 敗で 3 位トーナメントへ。一回戦の座間高校 (神奈川) 戦ではサッカーの力で劣っているばかりか気持ちも折れてしまい、大敗。ミス⇒イライラ or 消極的な気持ち⇒ミスという悪循環にはまり、声も出ず一番悪い負け方。二回戦では遠野 (岩手県) の B に辛くも PK 勝ちするも、こちらは A で臨んでいる気迫をまったく見せられず、後味の悪さばかり残る。ただ、**GK 琢哉**が相手 PK を止めたことは好材料でした。最終戦の東北学院戦では、先日までの悪い流れを断ち切らんと選手が頑張るも、0-0 からの PK 負け。総じていえば「自分たちは下手だ」という現実を認識できただけでもこの大会に参加した価値はあったでしょう。

続けて行った苗場遠征 (8 月 5 日～8 日)。ここでも煮え切らない戦いを続ける。A の予選リーグは巻 (新潟)、春日部 (埼玉)、三浦 (神奈川) 高校と同じブロック。2 敗 1 引き分けという残念な成績で最下位トーナメントへ。そこではこれまで見たことのない素晴らしいミドルシュートが決まり、やっとな溜飲を下げる。B もなかなか自分たちのサッカーができず苦しんだが、最終戦で、**GK 藤井**の好セーブで踏ん張り残り数分のところで **FW 山川**のコロコロシュートが決まり初勝利。最終戦は AB 同じ時間に行われており、顧問は後半 A チームの方に行く予定でしたが、初勝利を得ようと白熱した戦いを繰り広げる B チームの試合に釘づけになり、結局後半も B を見て、初勝利の現場に立ち会うことができました。多くのけが人が出たのは残念でしたが、そうした中 2 年**浩大朗**は率先して主審をつとめるなど、貢献しました。また選手が、一生懸命に洗濯をするマネージャーの存在を心底ありがたく感じたであろう、そんな 3 泊でした。

11 日からは恒例の蔵王合宿。坂道ダッシュなどのフィジカル・トレーニングでは、1、2 年生とも声を掛け合い、前向きに取り組んでおりました。最終日には恒例の 1、2 年生の対抗戦を行いました。結果は何と 1 年生の勝利。今年の 3 年生も一昨年に先輩チームに勝利しており、そこからジンを汲み取って考えると、先輩学年に勝った学年は最終的に好成績を残すのかも。しかし負けた上級学年は……。涼しい中、充実の三日間でした。

合宿におきまして OB 会から差し入れを頂戴しました。保護者会からは激励金を頂戴しました。あらためて感謝申し上げます。

右に決算を載せておきます。ご確認下さい。

## OB戦 盛況のもと終わる

8 月 9 日 (土)、夏の恒例企画、サッカー・フェスティバル (OB 戦) が行われました。卒

業仕立てのOBから往年の名プレーヤーまで、ハツラツプレーで現役生を脅かしました。プレーの後は中庭で「佐門」のモツ煮を現役・OB皆でほおぼる、これもまた恒例行事。今年は現役生のモツ煮の食べっぷりがすばらしく、恐らく史上初の完食（汁も含め）。佐門の寸胴鍋が空になる「快挙」に、「来年は期待できるな」との声が上がりました。例年同様、OBにも現役生にも楽しい企画でした。OBの皆様、ありがとうございました。